

工業学会が中学生向けにクリアファイルを製作

CONCEPT SHEET

◇ KEY POINT

工業が未来を創造するイメージを光によって変化する
ドットと色彩を用いた打上花火のイメージで表現

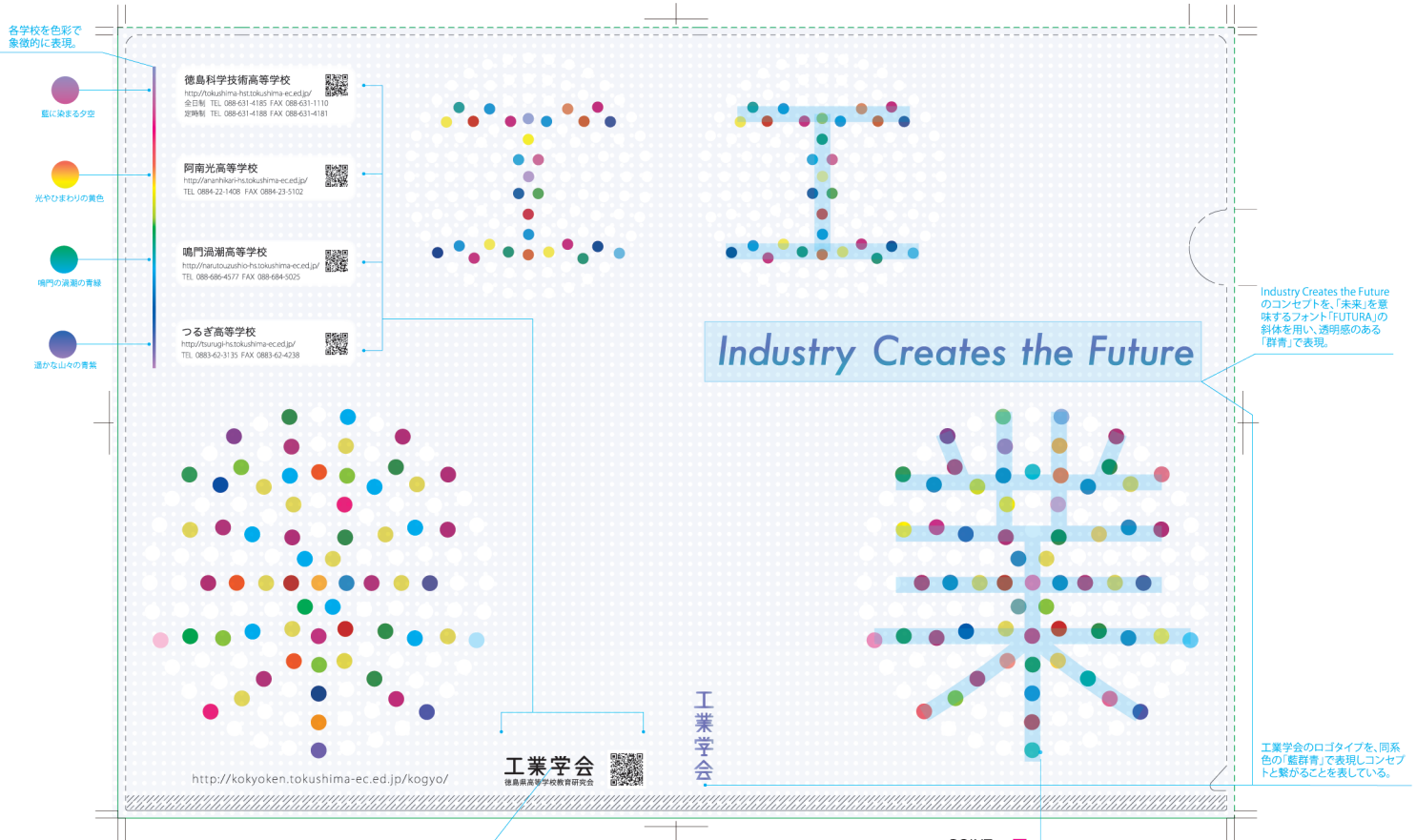
◇ TITLE

Industry Creates the Future 工業学会

[DATA]

A4 クリアファイル
両面印刷 プロセスカラー+白
用途_体験入学配布用

- CL : 徳島県高等学校教育研究会工業学会
- AD・D : 三原 宏治 (徳島科学技術高等学校 総合デザインコース)

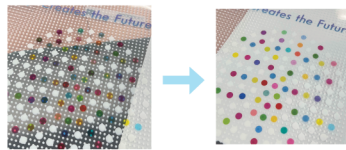


POINT 1

工業学会 徳島県高等学校教育研究会

工業学会のロゴタイプ
高校名とQRコードを黒で統一し、
4校が工業学会に所属する学校
であることを示した

POINT 2



何も入れていない時

中に白紙を入れた時

POINT 3

It means your hasn't been written yet. No one's has.
Your future is whatever you make it.
(Emmett Broun : Back to the Future Part III)
「人間の未来は誰にとっても白紙だって事さ。未来は自分たちで作るものだ。」
So you have to trust that the dots will somehow connect
in your future.
(Steve Jobs : Connecting the dots)
「だから、点がいずれどうにかしてつながると信じなければならない。」

デザインのポイント

POINT 1

工業のイメージを表現したロゴタイプ

“Industry Creates the Future” のコンセプトの基、未来の創造をテーマに工業のモダンでクリアなイメージを生かす色彩や造形的な美しさを兼ね備えたデザインの作成を試みた。「工業学会」のロゴタイプは、工業高校の化学、機械・電子機械・電気、情報技術、工業化学、土木、建設、工芸などの各イメージから、総合的に点・直線、などの構成要素を左右対称の文字に落とし込み、親しみやすさと信頼感と堅実さを兼ね備えた、新しいロゴタイプが完成した。工業学会所属の4校が未来への創造性を育成する機関であることをアピールしている。

POINT 2

光の反射率によって変化する色彩

光や音、情報、プログラミングなど、未来を創造するイメージをクリアなドットとモダンな白のドットのコントラストで表現した。4色プロセスカラー (CMYK) + 白版 (内側) という条件を生かし、白い紙を中に入れた時、白い壁の前に置いた時、自然光や人工光源の前で光を透過させた時など様々な状況で変化と統一感のある色彩調和が感じられるように表と裏でドットの色を調節した。また表から裏のデザインが透けて見えることにより視線が工業学会の学校名とQRコードへと自然に誘われる機能性も合わせ持っている。

POINT 3

未来の創造を打上花火のイメージで表現

一つ一つの小さなドット (白い点) は工業高校に集う生徒や工業で磨く一つ一つの技術を暗示している。ファイルに白紙を入れると小さな白い点は見えにくくなり、鮮やかなドットが浮かびあがる。それらのドット (色の点) はやがて繋がり、『工』と『業』が打上花火 (点の集合: 丸い面) の形から立ち現れる。人々の心を魅了する打上花火が工業の技術や化学、力学、色彩、音響、安全、環境など多くの分野にまたがる科学技術と芸術文化の融合であることから着想し、工業が未来を創造していくイメージをドットと光を感じさせる色彩を用いて使う人の心に残るデザインを心がけた。